

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

5月5日
毎月5日、20日発行
第48・49号
購読料50円
1年券1,800円(送料別)

叛旗

発行人 堀内 文雄
編集者 堀内 文雄
印刷所 小坂ビル105号室
〒100 東京都千代田区
共産主義者同盟
T.E.L.03-382-0149
東京都 162856

5月13日 全国反帝戦線大会
5月14日 立川闘争
5月15日 沖縄闘争

(印刷部)

日本階級闘争の最前線に革命派の旗幟を高々と揚げ 5-13~15連続闘争へ全国から結集せよ!

立川朝霞、早大、春闘の激闘から 5-15沖縄闘争への大決起を組織せよ!

沖縄闘争の永続的課題

「沖縄闘争」は、日本列島の南端に位置する沖縄県を舞台に、戦後20年を経て展開された階級闘争の最前線である。この闘争は、単に沖縄県民の解放を目的とするのではなく、日本社会の根本的変革を要求するものである。その永続的課題は、沖縄県民の政治的権利の保障、経済的自立の達成、そして日本社会の階級闘争の発展にある。

支配層と諸派と我々

沖縄の現状を分析すると、支配層は米軍と日本政府の両方から構成されている。米軍は沖縄を基地として、日本社会を支配している。日本政府は、米軍の利益を保護するために、沖縄県民の権利を踏みにじっている。我々革命派は、この支配層を打ち倒すために、沖縄県民と連帯して闘争を続ける必要がある。

情勢の昂揚を主体の 飛躍の糧とせよ!

現在の情勢は、日本社会の階級闘争が激化している。労働者の要求が高まり、学生運動が活発化している。この情勢を有利に利用し、飛躍の糧とせよ。我々は、この情勢を利用して、沖縄闘争を全国規模の大決起へと発展させる必要がある。

革マル派の学大破壊—武装襲撃を撃破し I文学学生大会、圧倒的に貫徹

革マル派の学大破壊は、学生運動の激化を背景として行われた。武装襲撃は、学生運動の発展を阻害する行為であり、我々革命派はこれを撃破した。I文学学生大会は、圧倒的に貫徹され、学生運動の発展に大きく貢献した。

三里塚第二期収用区域 5月10日以降 強制立入調査粉砕へ総決起せよ!

三里塚第二期収用区域の強制立入調査は、環境破壊と住民の権利侵害を目的としている。我々革命派は、この調査を粉砕し、総決起を呼びかける必要がある。5月10日以降、三里塚の闘争を全国規模の大決起へと発展させる必要がある。

三里塚第二期収用区域の強制立入調査は、環境破壊と住民の権利侵害を目的としている。我々革命派は、この調査を粉砕し、総決起を呼びかける必要がある。5月10日以降、三里塚の闘争を全国規模の大決起へと発展させる必要がある。

5月13日
全国反帝戦線大会
AM12時
電通大調布寮
京王線調布駅下車
主催：全国反帝戦線連合

5月14日
立川闘争
PM2時 反戦広場

5月15日
沖縄闘争
PM6時
神宮通公園
国電渋谷駅下車
宮下公園前、明治通りむき

21日・早大

本誌は、日本社会の階級闘争の最前線に革命派の旗幟を高々と揚げ、5-13~15連続闘争へ全国から結集せよ!と訴えている。この闘争は、単に沖縄県民の解放を目的とするのではなく、日本社会の根本的変革を要求するものである。その永続的課題は、沖縄県民の政治的権利の保障、経済的自立の達成、そして日本社会の階級闘争の発展にある。

我々革命派は、この情勢を利用して、飛躍の糧とせよ。我々は、この情勢を利用して、沖縄闘争を全国規模の大決起へと発展させる必要がある。

革マル派の学大破壊は、学生運動の激化を背景として行われた。武装襲撃は、学生運動の発展を阻害する行為であり、我々革命派はこれを撃破した。I文学学生大会は、圧倒的に貫徹され、学生運動の発展に大きく貢献した。

三里塚第二期収用区域の強制立入調査は、環境破壊と住民の権利侵害を目的としている。我々革命派は、この調査を粉砕し、総決起を呼びかける必要がある。5月10日以降、三里塚の闘争を全国規模の大決起へと発展させる必要がある。

戦後世界の解体根拠を鮮明に見据え 支配階級の延命策を葬る闘いの奔流を

現下の政治—軍事—経済再編と 階級闘争の焦眉の課題

戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

戦後秩序の形成根拠

戦後秩序の形成根拠は、戦勝国の間の競争と戦没国の間の競争にあり、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

過渡期世界の必然的形勢

過渡期世界の必然的形勢は、戦勝国の間の競争と戦没国の間の競争にあり、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

米帝の新世界戦略の内実

米帝の新世界戦略の内実とは、戦勝国の間の競争と戦没国の間の競争にあり、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

日帝の窮状と諸勢力—我々

日帝の窮状と諸勢力—我々。日帝は、戦後世界の歴史の中で、戦勝国の間の競争と戦没国の間の競争にあり、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

(1) 日帝の延命策の模索

(2) 構造的インフレ下の階級闘争の露呈

(3) 政治闘争の内化と 社会闘争の展開

(1) 日帝の延命策の模索。日帝は、戦後世界の歴史の中で、戦勝国の間の競争と戦没国の間の競争にあり、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。この戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。

反帝 戦線 商品投機粉砕闘争へ決起

16日第一波 20日第二波を打ち抜く

反帝 戦線 商品投機粉砕闘争へ決起。16日第一波 20日第二波を打ち抜く。戦後世界の歴史は、戦前の歴史とは全く異なるものである。戦前は、列強国家の間の競争が中心であり、戦後は、戦勝国と戦没国との間に、また戦勝国の間に、新しい勢力の対立が生じた。



商品投機粉砕闘争の熱い展開。参加者らは、反帝戦線を築き、商品投機を粉砕する闘争を繰り広げている。写真は、16日第一波の闘争の様子を示している。

SECT6 大正闘争 資料集

B5版 ¥800

☆「SECT6」機関紙各号
社会主義学生同盟全国大会に結集せよ
憲法と革命、「精神の闇屋」のたまたかいの矢
わずかな誤謬、プロト崩壊と社学同運動
非情の状況、第二次大派批判
……………他

☆「SECT6」パシプ1号・2号
☆中央大学昼間部自治会ニュース3号
☆belum omnium contra omnes
☆WASEDA クロシユタット1~2号
☆東大教養部社学同機関紙「行動者」1~2号

☆大正闘争概観 I・II
大正闘争 60~62年

☆解説 「SECT6」について
……………吉本隆明

発行 蒼根社

東京都新宿区百人町2-16-18 小林ビル105号室
TEL (03) 362-0149
振替 (東京) 168856 (千代140)

城念執

三里塚第二次代執行阻止闘争 機関紙
東峰統一被追回

印刷事情等により48号発行が遅れましたことを深くお詫言致します。定期購読の方々ははしるへ号数調整を行ないます。御承下下さい。

編集者 編集部

申し込み先
千葉県千葉市松波3-8-10
岡田秀樹宛
TEL 0472-54-1526
振替番号 東京121952

新たな社会闘争の水路を拓き

泥沼的インフレ政策を粉碎せよ！

商品投機の背後と我々の任務

商品投機の背後と我々の任務

「商品投機」の背後には、大資本の蓄積と労働者の搾取の構造が隠れている。インフレ政策は、労働者の生活を破壊し、社会を不安定にする。我々の任務は、この構造を打破し、労働者の権利を擁護することである。

商品投機は、大資本が市場を操作し、価格を人為的に引き上げる行為である。これは、労働者の生活必需品の価格を暴落させ、貧困を招く。インフレ政策は、労働者の賃金を相対的に低下させ、購買力を奪う。我々の任務は、商品投機とインフレ政策を徹底的に批判し、労働者の利益を守ることに尽きる。

我々の当面する任務は、労働者の団結を促し、社会闘争の水路を拓くことである。労働者は、単なる消費者としてではなく、社会の主体として立ち上がり、大資本の横暴に立ち向かう必要がある。

(1) 日本労働者運動

その負性の根拠

日本労働者運動の負性の根拠は、大資本の権威主義的支配と労働者の分業化にある。労働者は、大資本の支配下で分業化され、互いに孤立し、団結が困難になる。これは、労働者運動の発展を阻害する要因である。

大資本は、労働者を分業化し、互いに競争させることで、労働者の団結を弱体化させている。労働者は、互いに利害関係が対立し、団結が困難になる。これは、労働者運動の発展を阻害する要因である。

我々の任務は、労働者の団結を促し、大資本の権威主義的支配を打破することである。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

労働運動の前進を促す

労働運動の前進を促すには、労働者の団結と社会闘争の水路を拓くことが不可欠である。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

労働運動の前進を促すには、労働者の団結と社会闘争の水路を拓くことが不可欠である。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

労働運動の前進を促すには、労働者の団結と社会闘争の水路を拓くことが不可欠である。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

(2) 戦後労働者運動の特徴

戦後労働者運動の特徴は、大資本の権威主義的支配の弱体化と労働者の団結の向上にある。労働者は、大資本の権威主義的支配に立ち向かい、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

戦後労働者運動の特徴は、大資本の権威主義的支配の弱体化と労働者の団結の向上にある。労働者は、大資本の権威主義的支配に立ち向かい、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

戦後労働者運動の特徴は、大資本の権威主義的支配の弱体化と労働者の団結の向上にある。労働者は、大資本の権威主義的支配に立ち向かい、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

我々の当面する任務

我々の当面する任務は、労働者の団結を促し、社会闘争の水路を拓くことである。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

我々の当面する任務は、労働者の団結を促し、社会闘争の水路を拓くことである。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

我々の当面する任務は、労働者の団結を促し、社会闘争の水路を拓くことである。労働者は、互いに利害関係を超越し、団結し、社会闘争の水路を拓く必要がある。

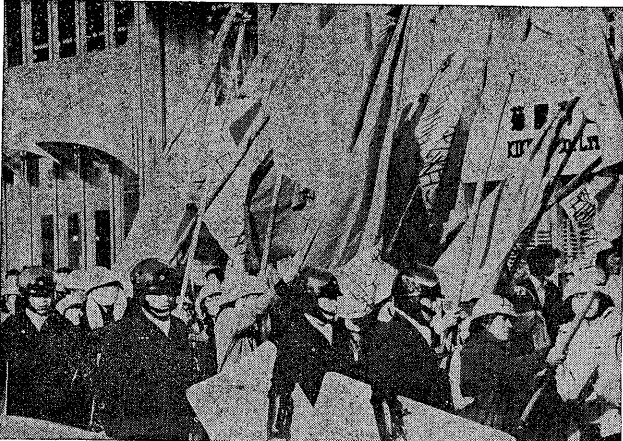
全ゆる闘いを駆使し進駐阻止-基地撤去へ!

進駐阻止—基地撤去の持続的闘いを踏え 5—14立川闘争へ総決起せよ

4月以降の闘争報告—反帝戦線現闘団

この中で我々の闘争の目的は、本会が五月に提出した闘争綱領に於いて、明確に示されている通りである。我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。



我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

過渡期の苦悶をかぐめこく

関西地区反帝戦線連合

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

のろし派の妨害を粉砕し 愛媛地区反帝戦線結成さる

5月2日 本進駐完了策動へ痛打!

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

革マル派の居直り—武装敵対を粉砕し 早大闘争の断乎たる前進を

西北地区反帝戦線・早大班

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

早大闘争の現況

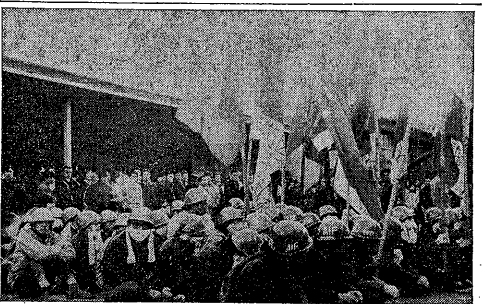
我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

当面する諸問題に 対する我々の見解

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。



我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。

我々の闘争は、単に日本軍の進駐を阻止し、基地を撤去するに止まらず、日本の侵略を根本的に打ち破ることを目的とするものである。我々の闘争は、全ゆる闘いを駆使し、進駐阻止と基地撤去の持続的闘いを踏え、5—14立川闘争へ総決起せよと我々反帝戦線現闘団は呼びかける。